留学生との交流を「楽しく・無理なく」続けるためのアイデアと工夫

（ホストファミリー経験者より）



1 こんな活動が好評でした

料理： たこ焼き、お好み焼き、手巻き寿司や煮物、料亭体験、和菓子、留学生が自国の料理を作るなど

外出： 万博記念公園、日本庭園、箕面の滝ハイキング、海、水族館、美術館、動物園、あべのハルカス、スポーツ観戦

買い物～片付けまで一緒に楽しむ人もいました

一方で、ご自宅でカードゲームやSwitchを楽しみながら、交流を深めたというお声もありました

文化体験 ： 着物/和服を着る体験、茶道体験、お寺体験（住職の話を聞く、普段触れないものに触れる）

交流会 ： お国紹介交流会、新春交流会、ホームパーティー

マッチングした留学生の希望によっては、留学生の友人を招待したり、団体全体で集まったりするなど、より大きな規模で交流するケースもあります。
※1対1での交流を希望する留学生もいますので、どのような形での交流を希望しているか、ぜひ聞いてみてください。



2 交流で心がけていること

留学生本人の意思・希望・興味を尊重

行きたい場所、やりたいこと、食べたいもの、日本への関心事項などを本人に聞き、希望に沿った交流を行っている。
ホスト側が「良かれ」と思って一方的に決めるのではなく、本人の意思や経験済みかどうかを確認し、合意形成を大切にしている。

日常生活の不安や困りごとを確認

LINEなどで定期的に連絡を取り、「元気か」「困っていることはないか」などを確認し、必要に応じてアドバイスしている。

交流しやすい環境づくり

留学生の友人も誘えるようにする、断りやすい雰囲気を作るなど、留学生がリラックスして参加できるよう工夫している。
行き先、費用、交通手段、集合場所などを事前に伝え、留学生が安心して参加できるよう配慮している。

家族のように自然体で無理のない交流を

留学生を「お客様」として特別扱いするのではなく、家族の一員として迎え、普段の生活の中で自然に交流している。
大学の授業や勉学、留学生・ホスト双方の予定を優先し、無理に会おうとせず、お互いの都合を調整している。

回答にご協力いただいた団体様（公開可の団体のみ）
アミーゴ、吹田市国際交流協会（SIFA）、茨木市国際親善都市協会、留学生さとおやの会、箕面市国際交流協会、海外協力グループ“クスクス”、国際交流グループ　チャターボックス